



## Ⅲ 弦楽器ピ～ンチ！

毎度のことですが、弦楽器の参加者がなかなか集まらず、各パートとも苦戦しております。皆さんの周囲の弦楽器奏者を、是非とも拉致監禁の上洗脳... じゃなくて、勧誘してください。時期的に、エキストラとしての依頼もはじめますので、詳細は各パートリーダーに御相談ください。

11/28 時点での各パート募集数は、以下のとおりです。

1Vn	4人(目標14)
2Vn	5人(目標12)
Va	5人(目標10)
Vc	3人(目標8)
Cb	4人(目標6)

参加者勧誘に御協力を！

(文責：広報)

## Ⅲ 第12回演奏会の選曲

第12回演奏会選曲への応募、ありがとうございました。今回は16のプログラムの応募があり、うち13のプログラムはアメリカの作曲家の曲を含んでいます。第1回選曲会議は12月12日(日)の10:00から行います。参加は自由ですので、役員・パートリーダーでない方もお気軽にどうぞ。会議で候補を絞った後に人気調査アンケートを行う予定ですので、回答の方もよろしく願い申し上げます。

(練習企画伊藤)

## Ⅲ 第12回演奏会選曲速報

第一回選曲会議に向けて、以下の曲が候補として寄せられました。

- < 1 > from-to-America  
ドヴォルジャーク：交響曲第9番「新世界から」  
バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」
- < 2 > 日米饗宴～ 21世紀に向けて  
矢代秋雄：交響曲  
バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」  
(ついでにアンコール1曲目：武満の小品  
アンコール2曲目：スターウォーズ・メインタイトル)
- < 3 > The Spilits!  
ストラヴィンスキー：春の祭典  
パーカー：アダージョ  
ラヴェル：ラヴァルス
- < 4 >  
コーブランド：バレエ組曲「アパラチアの春」  
ブルックナー：交響曲第6番
- < 5 >  
ミヨー：屋根の上の牛  
オネゲル：交響曲第3番
- < 6 > “ロメオとジュリエット”プロ  
プロコフィエフ：「ロメオとジュリエット」より抜粋  
バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」
- < 7 > “アメリカン！”プロ  
J.ウィリアムス：スター・ウォーズ エピソード！  
プライベート・ライアン  
シントラーのリスト  
M.ローザ：「ベン・ハー」～ 戦車の行進  
篠敏郎：「天地創造」～ ノアの箱船&メインタイトル  
グローフェ：組曲「ミシシッピー」  
バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」
- < 8 > “フィルム・ワールド”プロ  
A.ニューマン：20世紀FOXファンファーレ  
J.ウィリアムス：スター・ウォーズ エピソード！  
伊福部昭：SF交響ファンタジー第一番  
ウォルトン：「スピットファイア」～ 序曲とフーガ  
ショスタコーヴィチ：映画音楽「馬あぶ」組曲

- < 9 > “ハリウッドの系譜”プロ  
A.ニューマン：20世紀FOXファンファーレ  
J.ウィリアムス：スター・ウォーズ エピソード1  
バーンスタイン：「ウェスト・サイド・ストーリー」  
コルンゴルト：交響曲

- < 10 > “知られざるアメリカ”プロ  
H.ハンソン：ディエス・ナタリス

- A.ホヴァネス：神秘の山  
コーブランド：交響曲第3番
- < 11 > アメリカプロ その1  
コーブランド：エル・サロン・メヒコ  
ガーシュウィン：「ボーギーとベス」より抜粋  
グローフェ：組曲「大峽谷」

- < 12 > アメリカプロ その2  
ガーシュウィン：キューバ序曲  
コーブランド：「ロデオ」より4つのダンスエピソード  
グローフェ：組曲「大峽谷」

- < 13 > アメリカプロ その3  
バーンスタイン：「オン・ザ・タウン」  
ガーシュウィン：「ボーギーとベス」より抜粋  
スターウォーズ等：映画音楽  
ディズニー音楽

- < 14 > アメリカプロ その4  
コーブランド：エル・サロン・メヒコ  
ガーシュウィン：パリのアメリカ人  
バーンスタイン：「ウェストサイド・ストーリー」  
(アンコールはコーブランド：「ロデオ」よりホーダウン)

- < 15 > 2人のリヒャルトプロ その1  
ワーグナー：「さまよえるオランダ人」序曲  
ワーグナー：「トリスタンとイゾルデ」より前奏曲と愛の死  
R.シュトラウス：「サラメ」より7つのヴェールの踊り  
R.シュトラウス：「ドン・ファン」

- < 16 > 2人のリヒャルトプロ その2  
R.シュトラウス：「英雄の生涯」  
ワーグナー：「指環」より抜粋

- < 単品 >  
・コーブランド：「ロデオ」より4つのダンスエピソード  
・カリニコフ：交響曲第1番  
・J.ウィリアムス：LAオリンピックファンファーレ  
・ヴォーン＝ウィリアムズ交響曲5番  
・マラー：交響曲第1番  
・シベリウス：交響曲第2番

- ・レスピーギ：ローマの祭り
- ・ストラヴィンスキー：火の鳥(1919)
- ・グローフェ：組曲「大峽谷」

以上のプログラム、曲目をもとに、第一回選曲会議を行い(自由参加)、その後全員にアンケート実施を予定しています。

## Ⅲ 参加費前納に御協力を！

♪ 予算案について

参加者数がまだ確定しないため、参加費の決定額については、まだ未定です。

♪ 参加費の一部前納

現時点では参加費の総額は未定ですが、練習場や楽器借用などのために、参加費は分納制とさせていただきます。

運営資金として ¥10,000 を集金しますので、よろしく願います。

♪ 支払い方法

以下の2通りの支払い方法があります。

- a. 現金での支払い：会計、金井さん(FI)に、練習時に現金で支払って下さい。
- b. 銀行振り込み：下記口座へ振り込んで下さい。振り込み手数料は申し訳ないですが自己負担をお願いします。

さくら銀行 麹町支店 普通 7196197  
オーケストラ・ディマンシュ

## Ⅲ スタディ・スコア

ラフマニノフのスコア在庫は、予約完売いたしました。希望者がいる場合は、増刷しますので、窪田(Trb)までお申し出ください。現金引き換え(¥2100)です。

## 13 独断と偏見のDISK紹介

(チャイコフスキー編)

前回に引き続き、広報担当の独断と偏見に満ちたDISK紹介です。チャイ4は皆さんお持ちでしょうから、とりたてて御紹介するまでもないといえばそうなのですが....

< 独断と偏見のワンポイント > : わし的には、特になし。

エフゲニー・ムラヴィンスキー / レニングラード・フィルハーモニー交響楽団

1960 録音 [DG] 419 745-2 (輸)

必聴、必携、持たぬは恥！何も言わずに買おう！この3枚組みを聴かずしてチャイコフスキーを語るなど言語道断。当時、鉄のカーテンの向こう側に隠されていたこのコンビがこの録音で西側諸国の音楽ファンに与えた衝撃は計り知れないと云われる名演。録音後40年近く経った今なお、絶対零度の研ぎ澄まされた峻厳さにまさに凍り付く。微塵の隙も見せない鉄壁の音塊は思わず正座したくなるほど。唯一の難点として、弦楽器を通常配置にさせたDGのプロデューサーは非難されるべし。

レナード・バーンスタイン / ニューヨーク・フィルハーモニック

1989 録音 [DG] 429 778-2 (輸)

いやあ、ムラヴィンスキー盤と併せてこれ持っていたら、もう他は必要ないと断言させていた。高密度のサウンドが一枚岩の如く聳え立つ。こちらはムラヴィンスキー盤とは対照的に濃密かつ燃えるような音楽。晩年のバーンスタイン特有の遅いテンポだが、音楽に停滞感はない。特に第一楽章で、一音々々愛おしむかのように演奏されるフレーズに涙が出る。

併録は幻想曲『フランチェスカ・ダ・リミニ』。こちらにもまた熱くそして美しい。

エフゲニー・ムラヴィンスキー / レニングラード・フィルハーモニー交響楽団

1957 録音 [BMG MELODY A] 74321 29407 2 (輸)

「ムラヴィンスキーの芸術」というシリーズに所収の一枚(分売あり)。こちらはモノラル録音。DGのステレオ盤と内容的にはさほど変わらない。併録はグラスノフの交響曲第4番。

< 参加者の皆さんから寄せられた紹介 >

シャルル・デュトワ / モントリオール交響楽団

1988 録音 [ECCA] 443 618-2

これしか持っていません。これ以上買う気もありません。Tuba あさひなさんにお勧めです。また、この曲を交響曲ではなくディヴェルティメントと認識している方にもお勧めです。とにかくシャープで無駄なく、しかも美しい演奏です。

(BassTub.半澤氏)

エフゲニー・スヴェトラーノフ / ソヴィエト国立交響楽団

録音 [CANYON] ???

チャイ4は、これでしょうか。ちなみにサントリーホールです。

これに出会って以来、ほとんどこれしか聴いてません。いきのいいチャイ4で、右に出る演奏はほかに知りません。これ聴いちゃうと、他の演奏がタルく聞こえてしまいます。ぜひともこれくらいのテンポでいきたいんですが。参考までにぜひどうぞ。

さらに素晴らしいことに、Cym と B.D.の「最後の1発」あります。

(Perc.小林氏)

< 番外編 >

田畑俊彦 / 北九州市立響南中学校吹奏楽部 (昭和45年度 全日本吹奏楽コンクール)

1970 録音 [PRIVATE ARCHIVE]

吹奏楽界に語り継がれる伝説的な名演。弦楽器の皆さん、一度聴いてみて下さい。ぶっとびますよ！(ちなみに、名門、出雲市立第一中学校も名演を残している)

マリス・ヤンソンス / レニングラード・フィルハーモニー交響楽団

1986 録音 (PRIVATE ARCHIVE)

NHKで放映された来日公演を録画したもの。当時はTVでのステレオ放送はまだほとんどなく、この放送もモノラルで、FMではステレオで放送された(そちらはCTに録音)。サントリーホールのオープニングシリーズの一環として招聘したもので、死の直前のムラヴィンスキーがキャンセルとなり、代役のヤンソンスが振った(たぶん日本デビュー)もの。当時学生だったわしは裏方の楽器運搬のバイトで行き、本番は運良くP席に座らせてもらったのだ(判別できないが、金山さんとともに画面に映っている)。初めて生で聴くソ連オケの凄まじさ(なんといっても前プロはショスタコーヴィチ5番、メインがチャイ4番で、金管はローテーションなし!)に、皆で「こいつら人間じゃねえ！共産主義の技術の粋を集めて造られたサイボーグに違いない。きっと高い音を外したりしたら、労働用に改造されてシベリアへ送られるんだ」などと話し合ったことを覚えている。と同時に、ロシア人の体臭のきつさをステージ裏で身にしみてわかった時でもあった。

世代交代前の同オケの面々(トロンボーン首席は70代!)が涼しい顔をして驚異的な迫力の音を出すことに圧倒される。返す返すも悔やまれるのはモノラル収録であることと、画質の落ちる3倍モードで録画してしまったことだけの、永久保存版である。

(この項はショスタコーヴィチ5番の紹介と共通です)

.....

編集後記

今回はあまり余裕がなく、紙面的には少ない(?)ですが、御容赦を。

「私のチャイ4」はまだ募集しますので、特に弦楽器・木管楽器の方、ふだんどういふ演奏を聴いているか、お寄せください。

(わし)